

狩野派の世界 2021

忘れられた 江戸絵画史の 本流

—江戸狩野派の250年—

2021

5.22 (土)

前期: 5月22日(土)～6月6日(日)
後期: 6月8日(火)～6月27日(日)

6.27 (日)

開館時間=10:00～17:30(入室は17:00まで) 休館日=毎週月曜日

観覧料=一般1200円(1000円)、70歳以上600円(500円)、大学生以下無料 主催=静岡県立美術館

※()内は前売および20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料

※本展の観覧券で「江戸狩野派の古典学習」展・ロタン館も併せてご覧いただけます

※本展の観覧券(半券可)を池上本門寺で開催される「本門寺の狩野展」(4/3(土)～6/27(日) 土日祝のみ開館)でご提示いただくと、観覧料が100円引きになります。また、「本門寺の狩野展」の観覧券(半券)を当館でご提示いただくと、団体料金になります



静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

国内最大級の江戸狩野派コレクション

一筆一画に込められた情熱

近年、江戸絵画人気は高く、さまざまな画家が紹介されていますが、江戸絵画史の本流を形成した江戸狩野派は、最も活躍した数人の画家を除いて、ほとんど知られていません。江戸狩野派は巨大な組織で、江戸時代に将軍家や大名の注文を受け、江戸画壇の中心で活躍した主要な画家だけでも、100人を優に超えます。

本展では、個人コレクターの所蔵する江戸狩野派作品を選びすぐり、彼らの知られざる魅力をご紹介します。

展示では、江戸狩野派の基本的なスタイルを築いた奥絵師の作品だけでなく、民間画壇に接触し、江戸狩野派の画風に多様性をもたらした表絵師の作品にも注目し、江戸狩野派の幅広い展開をご覧ください。

※本プレスリリース「忘れられた江戸絵画史の本流」展の画像はすべて日照軒コレクションです

江戸初期から幕末まで。江戸時代の250年を江戸狩野派の作品によって駆け抜けます

現在の江戸絵画人気は、伊藤若冲、長沢芦雪ら、18世紀に活躍した画家が牽引しています。しかしながら、江戸狩野派に関しては、18世紀の画家はほとんど紹介が進んでいません。本展では、江戸時代を代表する17世紀の画家・狩野探幽や、近年人気の幕末狩野派だけでなく、これまであまり注目されてこなかった18世紀の江戸狩野派の作品も多数紹介します。



狩野常信「十二ヶ月和歌歌意画帖」より



狩野洞琳波信

「流水に梅鳥図」



狩野寛静良信

「孔雀牡丹図」

奥絵師4家、表絵師12家揃い踏み！総勢80人の画家によって江戸狩野派の全貌に迫ります

江戸狩野派は、江戸城にアトリエを持つ奥絵師4家を頂点に、それを支えた表絵師12家の中核となって活動しました。各家の当主だけでも、江戸時代には約140人もいます。本展では、彼らの作品を時系列で紹介し、その変遷を辿ります。表絵師の画家を系統立てて多数紹介することは本邦初の試みです。江戸狩野派の奥絵師・表絵師を総覧することで、知られざる実力者たちに光を当てます。



狩野典信「山水図」



狩野中信「鷹狩図」



狩野洞白愛信「東方朔・西王母図屏風」



112点の展示作品のうち、4点以外すべて初公開！江戸狩野派の知られざる魅力を掘り下げます

本展では、1500点を超える江戸狩野派コレクターの所蔵品から精選した作品111点をご紹介します。展示作品は、3点を除く作品がすべて初公開です。なかには、近年人気の河鍋暁斎の師である狩野洞白陳信や前村洞和の作品もあります。知られざる作品を発掘し、江戸狩野派の再評価を進めます。

※1点のみ当館所蔵作品を展示します



狩野祐清邦信・狩野立信「花鳥図屏風」



狩野洞白陳信「山水図屏風」

■「忘れられた江戸絵画史の本流」展の開催に併せて、江戸狩野派の古典学習に焦点をあてた特別展示「江戸狩野派の古典学習—その基盤と広がり」（5/18～6/27 静岡県立美術館 第7室）を行います。本展は、江戸狩野派の傑作・優品が集まる模本や直模作品、倣古図に焦点を当てる初めての展覧会です。両展覧会を併せてご覧いただくことで、江戸狩野派の魅力の本質に迫ります。



狩野探幽「臨面帖」(個人蔵)
(重要文化財)



狩野常信「和漢流書手鑑」(個人蔵)



狩野古信「雪舟原本 山水長巻」
(東京国立博物館)

■展覧会構成■

- 第一章 基盤形成—奥絵師の活躍
- 第二章 全国展開—江戸狩野派草創期の傍流の実力者たち
- 第三章 巨大化と多様化—表絵師の体制確立と展開
- 第四章 変化と飛躍—奥絵師様式の刷新
- 第五章 江戸狩野派の終焉？—江戸後期表絵師の躍動

■展覧会概要■

展覧会名 忘れられた江戸絵画史の本流—江戸狩野派の250年

会 期 2021年5月22日（土）～6月27日（日）

※巡回先なし

開館時間 10：00—17：30（入室は午後5時まで）

休 館 日 月曜日（祝日の場合はその翌日）

主 催 静岡県立美術館

観 覧 料 一般1200円（1000円）、70歳以上600円（500円）、大学生以下無料

※（ ）内は前売り・団体料金 ※身体障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

関連事業 特別講演会・館長美術講座・美術講座・フロアレクチャー

※本展を紹介してくださる媒体には、展覧会の招待券（5組10名様）を読者プレゼント用に提供いたします。詳しくは、「広報用画像利用申込書」をご覧ください。

担当者／連絡先 静岡県立美術館 〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田53-2

学芸課 野田麻美／総務課 高柳智穂

TEL：054-263-5857（学芸課）054-263-5755（総務課）